

東北地方 1 か月予報

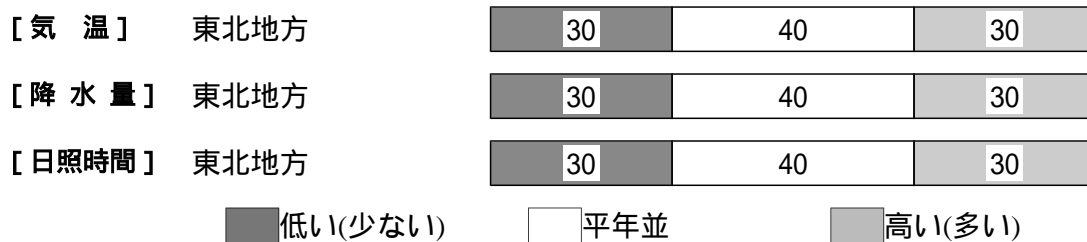
(6 月 2 7 日から 7 月 2 6 日までの天候見通し)

平成 2 1 年 6 月 2 6 日
仙台管区气象台発表

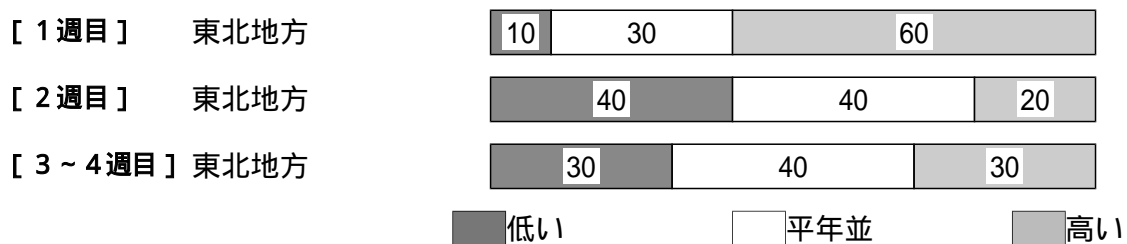
< 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。
週別の気温は、1 週目は高い確率が 6 0 %、2 週目は平年並または低い確率がともに 4 0 % です。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 6 月 2 7 日 (土) ~ 7 月 2 6 日 (日)
1 週 目 : 6 月 2 7 日 (土) ~ 7 月 3 日 (金)
2 週 目 : 7 月 4 日 (土) ~ 7 月 1 0 日 (金)
3 ~ 4 週 目 : 7 月 1 1 日 (土) ~ 7 月 2 4 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 7 月 3 日
3 か月予報 : 7 月 2 3 日 (木) 1 4 時

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	20.3	95.0	169.7	18.6	19.6	21.2
深浦	20.6	137.9	170.0	18.9	19.9	21.5
むつ	18.8	119.4	144.1	17.1	18.1	19.7
八戸	19.4	113.3	158.2	17.6	18.6	20.3
秋田	22.0	178.2	161.1	20.4	21.2	22.8
盛岡	21.0	160.0	134.5	19.5	20.4	21.8
大船渡	20.3	176.4	138.0	18.7	19.6	21.1
宮古	19.2	140.5	136.0	17.4	18.5	20.0
仙台	21.3	169.3	114.7	19.5	20.6	22.1
石巻	20.6	138.4	134.2	19.0	20.0	21.4
山形	22.5	146.2	140.2	20.8	21.8	23.3
新庄	21.6	189.2	139.7	20.1	20.9	22.4
酒田	22.4	187.5	163.9	20.8	21.6	23.2
福島	22.7	152.9	119.6	21.0	22.2	23.6
若松	22.7	167.0	150.7	21.1	22.1	23.5
白河	21.3	194.4	115.7	19.6	20.7	22.1
小名浜	21.1	138.8	135.0	19.6	20.5	21.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3 ～ +0.5	87 ～ 112	91 ～ 108
東北日本海側	-0.3 ～ +0.5	83 ～ 116	89 ～ 107
東北太平洋側	-0.3 ～ +0.5	84 ～ 112	91 ～ 111

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7 ～ +0.6	-0.7 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.7
東北日本海側	-0.5 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.7
東北太平洋側	-0.8 ～ +0.6	-0.9 ～ +0.7	-0.6 ～ +0.8

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 21 年 6 月 26 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（6 月 27 日～7 月 26 日）：

東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

期間の前半は気温の変動が大きい見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1 週目（6 月 27 日～7 月 3 日）：

期間のはじめは高気圧におおわれて晴れますが、その後は気圧の谷や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が 60%です。

2 週目（7 月 4 日～7 月 10 日）：

気圧の谷や前線、オホーツク海高気圧の影響により、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は平年並または低い確率がともに 40%です。

3～4 週目（7 月 11 日～7 月 24 日）：

前線やオホーツク海高気圧の影響により、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

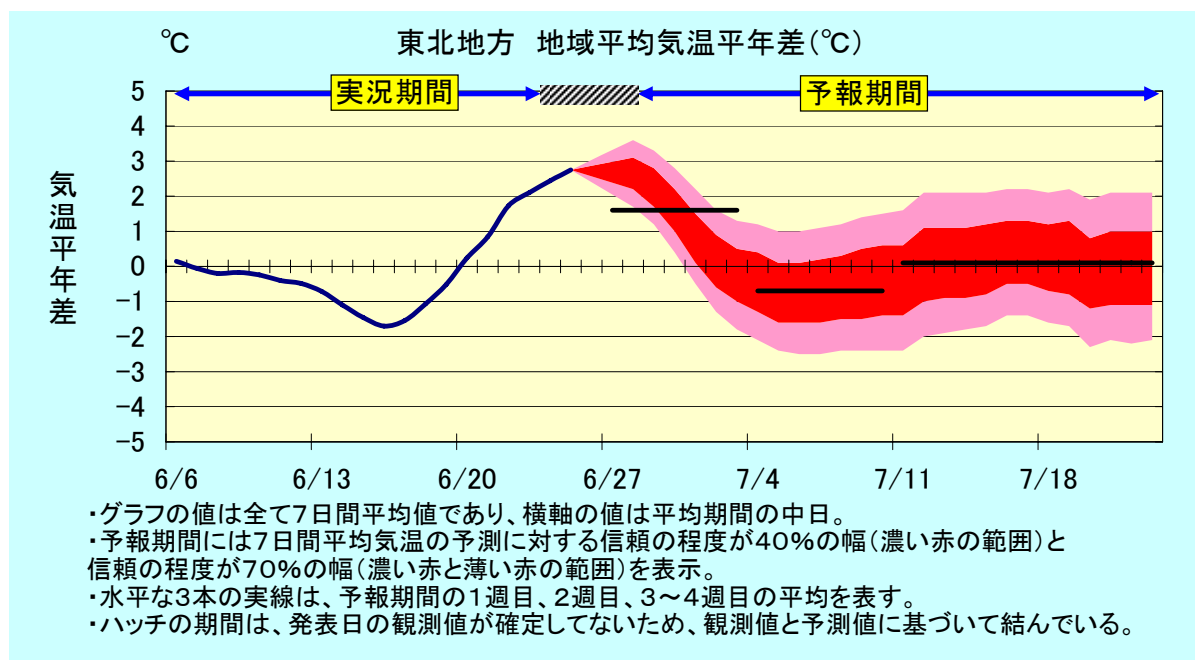
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	11.8 日	2.7 日	2.7 日	6.4 日
東北太平洋側	10.1 日	2.2 日	2.5 日	5.4 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1 週目は平年を上回り、2 週目は平年をやや下回り、3～4 週目は平年付近の予想となっている。

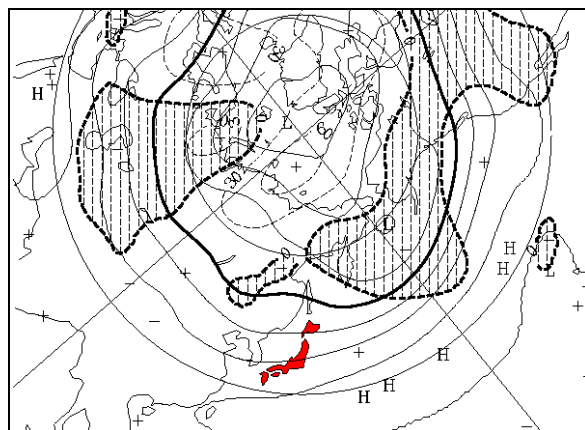


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

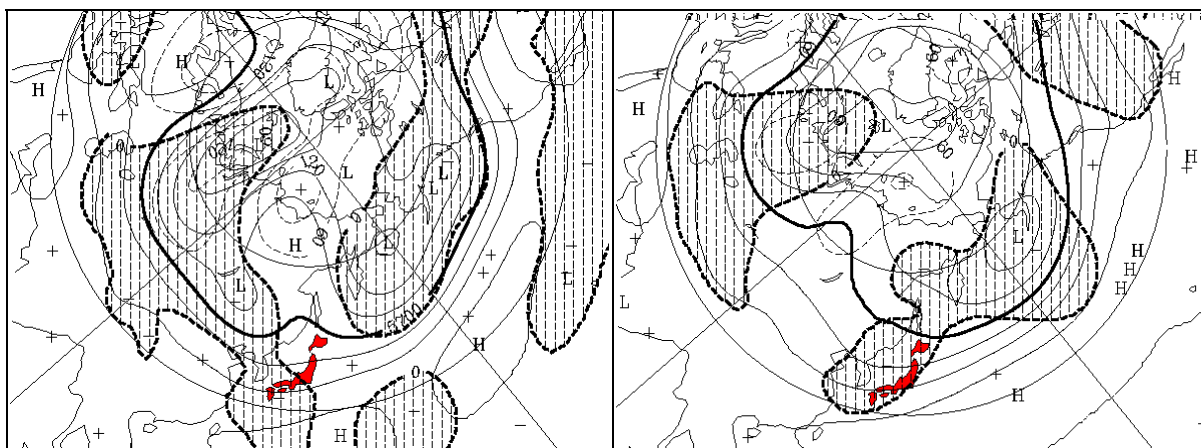
1か月平均: 極東域は広く正偏差。850hPa 気温予想図でも日本付近は正偏差だが、偏差は小さい。日本の北側では偏西風の蛇行が見られ、寒気やオホーツク海高気圧の影響を受ける時期もある見込み。

1週目: 日本の北側から南東海上にかけて正偏差、中国東北区から西日本にかけては負偏差で、やや西谷傾向。期間の前半は南からの暖かい空気が入り、気温は高くなる見込み。

2週目: 極東域は広く正偏差だが、日本付近は日本海を中心とした負偏差が見られる。北日本は気圧の谷や寒気の影響を受けやすい。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

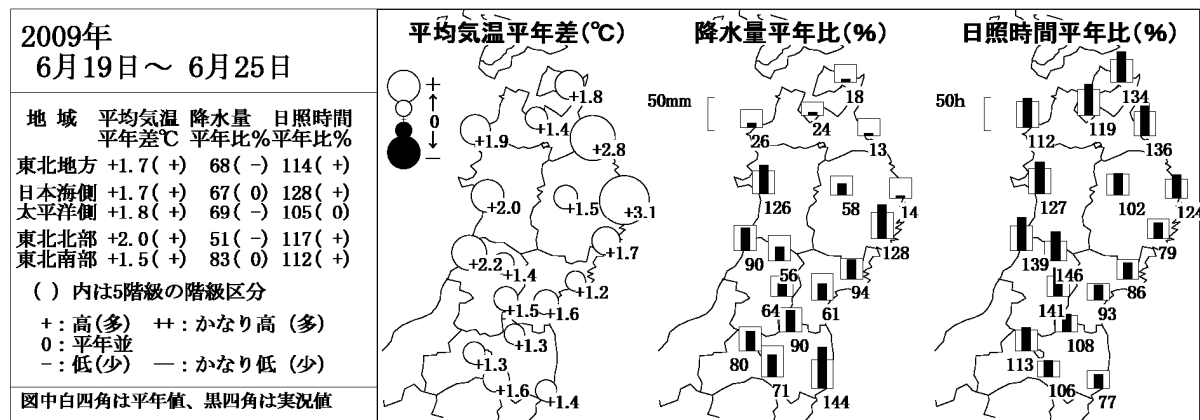
実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (6月19日～6月25日) の天候の経過

この期間、東北日本海側は、期間の中頃に低気圧や前線の影響で雨となったほかは天気の大きな崩れはなく、晴れの日が多かった。東北太平洋側は、期間の前半は低気圧や前線、湿った東よりの風の影響により、曇りや雨の日が多かったが、期間の後半は晴れるところが多かった。南からの暖かい空気が入りやすかったため、期間の後半を中心に気温は高かった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で少なく、東南北部で平年並。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)